

# 令和元年度

## 第3回 関東森林管理局国有林材供給調整検討委員会

日 時 : 令和元年12月26日(木)  
13:00~15:00

場 所 : 関東森林管理局  
東京事務所 会議室

### 次 第

1. 開 会

2. 議 事

(1) 木材の需給動向について

① 木材の需給、価格等の動向

② 関東局における国有林材の供給状況

(2) 国有林材供給調整の必要性について(審議)

3. 閉 会

令和元年度 第3回 関東森林管理局国有林材供給調整検討委員会 出席者名簿

(五十音順・敬称略)

所 属 ・ 役 職 名	氏 名
株式会社フジイチ 代表取締役社長	石野 秀一
福島県森林組合連合会 常務理事	遠藤 誠寿
栃木県林業木材産業課 木材産業担当 課長補佐	川上 晴代
協和木材株式会社 代表取締役社長	佐川 廣興
群馬県森林組合連合会 木材部長	鈴木 克志
有限会社平子商店 専務	平子 美穂子
栃木県森林組合連合会 木材流通課 課長	田中 幸夫
茨城県森林組合連合会 代表理事専務	楡井 真一
国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 研究コーディネーター(地域イノベーション推進担当)	堀 靖人

関東森林管理局

官 職	氏 名
森林整備部長	佐藤 肇
資源活用課長	古澤 茂昌
企画官(木材需給対策)	渋谷 英夫
供給計画係長	金澤 威一郎

1. 開催日時・場所

令和元年12月26日(木) 13:00~15:00

関東森林管理局 東京事務所会議室

2. 検討結果

需給動向や各委員からの状況報告等を総合的に勘案した結果、現時点において国有林材の供給調整を実施する必要はない。

3. 概要(状況報告等)

(1) 需給動向について

- 栃木県では、台風や大雨の影響により素材生産が遅れ出材が減少していたため、10月中旬から11月初旬にかけてスギの小径材と柱適材は素材の価格を上げ、柱適材は16,000円/m<sup>3</sup>を超えた。しかし、製品の価格は変わらず、高値疲れから価格を落としたことと素材が順調に出荷し始めたことから、現在は13,000円/m<sup>3</sup>前半で推移している。
- 福島県では、台風と大雨の被害による原木不足は解消に向かっている。秋の原木価格急騰を受け、出材を急いだ材が市場に溢れ出したため、1月以降は大雪でもなければ荷もたれ感が続きそうである。
- 群馬県では、原木市場の入荷量は例年並みとなっているが、需要に対して供給が追いついていない。特にスギの3m柱適材と中目材については、県内の大型工場で在庫がない状態が続いているが、年明け以降も出材が見込まれており、在庫不足は解消される見込みである。
- 茨城県では、台風の影響から一時入荷量が減少していたが、台風後は材の入荷が途切れることなく昨年並みの取扱量となっている。素材価格は全般に引き合いは強いが、一時急騰したスギ柱適材が14,000円/m<sup>3</sup>台となっている。
- 静岡県では、台風被害があった伊豆半島以外では、入出荷とも順調に推移しており、素材価格はスギ・ヒノキとも堅調であるが、年明けからは厳しくなるという見方が多い。

(2) 主な意見

- 大径材の用途がないという点については、大径並材の価格は中目材と同じ価格が限界である。大径材を利用するのであれば、大径良材(Sクラス材)から役物類を生産できる工場(小規模)と、大径並材から4万円台で売れるKD並材を大量に生産できる工場(大規模)を分けて考えることが必要。小規模工場に対する国の支援措置の現状を考えるとSクラス材工場は成り立たず、大径材が安いという問題は解決できない。
- 集成材への流れの中、静岡県の天竜地方や神奈川県において、各自独自性を出していきたいという考えで、天然乾燥による無垢構造材の仕様に取り組み工務店が徐々に増加している。
- プレカット工場やハウスメーカーに無垢の構造材を販売していくには、少なくともJASマークを打ち品質保証責任の所在を明確にしなければ、集成材やLVLの構造材には太刀打ちできない。